



愛衛だより

<http://aichi-shika.com>

発行人：長縄弥生 発行：公益社団法人愛知県歯科衛生士会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-18 愛知県歯科医師会館内 TEL(052)962-9171 FAX(052)962-9172



これからの歯科診療所に求められること

厚生労働省は、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を目指して、様々な施策を打ち出している。

今年度愛知県や名古屋市が実施した「地域包括ケアモデル事業」もその施策のひとつである。県内の様々な職能団体がその協力団体として位置づけられており、当会にもその説明会や報告会への参加依頼が届いている。しかし、具体的にモデル事業に関わったという支部や会員からの報告は受けていない。

私の勤務する中村区においても、情報共有システム（ICT）を活用した在宅医療・福祉の連携に関するシステムづくりを目指したモデル事業が医師会中心に実施された。このモデルの中で中村区歯科医師会は、在宅療養者の歯科医療について「かかりつけ歯科医」を中心に組織で取り組んでいくという方向性を示している。今回のモデル事業の中では歯科衛生士の位置づけについては明記されていないが、今後この連携システムが日常的に運用されるようになれば、地域における歯科衛生士の活躍の場が増えることになるであろうと大いに期待をしている。

もう一つの国の施策として先ごろ「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が発表された。このプランは2025年（平成37年）

約700万人（65歳以上高齢者の約5人に1人）になるともいわれる認知症の人ができる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すものと位置づけられている。

その中で「認知症の発症予防」として「運動」「栄養改善」等に加え「口腔に係る機能の向上」が位置づけられており、地域においてこれらの予防活動に取り組むことが明文化されている。

また「早期診断・早期対応」のため、**歯科医師等**による口腔機能の管理を通じて高齢者等と接する中で認知症の早期発見における役割が期待されている。そのため、国は歯科医師等へ認知症への理解を深めるための研修の実施が検討されている。

以上のように高齢社会の進展に伴い、地域で高齢者が快適な生活を送るためには歯科診療所へ期待は大きいと言える。つまり、今まで歯科界が苦手としていた在宅診療や認知症への対応も積極的に関わらなければならない時代になったということである。今後も愛知県歯科衛生士会は、社会が求める歯科衛生士を目指して活動する。



公益社団法人
愛知県歯科衛生士会
副会長 金森 いづみ

災害対策委員会からお知らせ

1. 1月15日(日)に実施した「大規模災害を想定した連絡訓練」に協力ありがとうございました。今後も同様の連絡訓練を行う予定ですので、連絡が届かなかった会員は在籍支部の支部長または本会事務局まで連絡し、携帯電話番号・メールアドレスを登録ください。
2. 日本歯科衛生士会「災害支援歯科衛生士の登録」に協力ください。日本歯科衛生士会ホームページの「災害支援歯科衛生士登録」バナーより登録・解除ができます。

『いつまでも食べる楽しさを支えたい』

日時：平成27年3月8日(日)

会場：愛知学院大学楠本キャンパス110周年記念講堂

歯科衛生士として食べることを支え続けたい思いを言葉にして、今年も標記シンポジウムが開催された。200名近くの県民にその思いは伝わったのが、その内容を誌面で紹介する。

● 第1部 基調講演「ちいきほうかつケアシステムってなあに？」

講師 遠藤英俊氏（国立長寿医療研究センター内科総合診療部部长）

地域包括ケアシステムとは、一体どのようなシステムなのか？一般県民にはどう認識されているのか？遠藤氏はこのシステムについてわかりやすく解説した。

【地域包括ケアシステムは住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体化】

日本の高齢化は著しい。今後団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が高まる。厚生労働省においては、2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるようにとこのシステムを構築した。住まい・医療・介護・予防・生活支援の一体化を目指すシステムである。

まず住まい。独居、高齢者世帯が増えるなか、名古屋市緑区には鳴子団地モデルがあるが、そこに高齢者が住み、その周辺に医療や介護の事業所が整備される。住み慣れた場に住み続けることの安心感は大きい。さらに24時間対応の訪問看護・訪問介護を設置。現在はICTを活用した情報共有も整備されつつあり、多職種連携が確実に進みつつある。

予防においては認知症の初期予防に重点を置く。認知症は早期発見が治療のカギ。現在は認知症サポート医が紹介状で専門医に受診させる。今後は歯科医師、薬剤師にも専門研修を受けてもらう予定。また期待ができる薬剤は急速に開発されている。

生活支援はほんの少しの手助けで助かる高齢者を住民が支える。自助・共助・公助を充実させるのがこのシステムのポイント。このシステムでは多職種連携が大きな役割を果たす。



● 第2部 シンポジウム

「あなたにもくる！？口から食べられることができなくなる日」



シンポジストの発言要旨は以下のとおり。坂井謙介氏（昭和区歯科医師会）は口腔内の清潔は誤嚥性肺炎を防ぎ、同時に口腔周囲をリハビリする。各年齢層を通して「食べることを支援する」職業が歯科医師だという。その坂井氏と現場で連携をしている西澤貴志氏（愛知県栄養士会）は訪問をする管理栄養士は現在県下に4、5名でもっか育成中。事例では嚥下障害の利用者にお酒をゼリーにして提供したことを報告した。小津美智子氏（愛知県看護協会）は現場で多くの職種と出会うという。80歳の男性を医療と介護の連携で経口摂取にした事例を話した。ケアマネジャーの鈴木あけみ氏（愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会）は利用者の全身と背景を見てコーディネーター役となるケアマネにとってもこれからは在宅のケアプランに歯科診療は重要だと話した。最後に本会の長縄会長が病院勤務の立場から病院が行う胃瘻の処置について説明。胃瘻があっても食べられるかどうか、在宅でも誰かが観察し、経口摂取への道をつけていかなければならないと話した。



『吸着効果』で
ステイン除去から仕上げまで、
1本で実現します。

歯科用フッ素配合ペースト
クリーニングジェル〈PMTC〉

60g 1,800円(税抜) 歯科専用

- 医療機器届出番号:27B3X00270000010
- 一般名称:歯面研磨剤 ● 分類:一般医療機器

吸着効果によるクリーニングのイメージ

クリーニングジェル〈PMTC〉の場合

吸着して落とす

多孔性の高機能シリカが汚れを吸着して落とすので、歯面に負担をかけることなくクリーニングできます。
さらに、微粒子サンゴパウダーの清掃効果が歯面を滑沢にするので、仕上げ研磨が不要。1本でPMTCを実現します。



一般的なPMTCペーストの場合

こすり落とす

多くの研磨粒子が汚れを除去する過程で、歯面を傷つけてしまう恐れがあります。また、歯面を滑沢にするために、仕上げ研磨を行う必要があります。





支部コーナー

★ 地域保健活動

〈愛知西支部〉

当支部では、定例事業として介護予防教室、むし歯予防教室など7事業、社会福祉施設健診6施設、施設入居者歯科健診介助5施設、町民まつり1事業所、成人歯科保健1施設、障害児歯科保健9施設の依頼をされている。年に複数回開催される事業もあり、毎年多くの協力者を必要としている。しかし協力する会員は固定化されており、支部の活性化には新しい協力者が必要である。



介護予防教室

津島市介護予防教室では、受講者に楽しんで参加してもらえよう、担当歯科衛生士間で情報を共有し意見を出し合い検討している。介護予防教室卒業者を対象とした同窓会も毎年開催しており好評を得ている。

小澤 浩美



豊橋歯科衛生士学校にて

★ 三河東部支部勉強会

〈三河東部支部〉

毎年一回行っている当支部主催の勉強会を、本年度は平成26年11月30日(日)、豊橋歯科衛生士専門学校にて、グラクソ・スミスクライン(株)より中村清香氏を講師に迎え、『知覚過敏、酸蝕歯について』という演題で行った。

疾患が起こるまでのプロセス、原因、患者さんへのアプローチから治療法まで、資料とともに分かりやすく話した。特に酸蝕歯は、見逃してしまいそうな初期の事例から、非常に進んでしまった事例までを写真で見ることができ、大変参考になった。

日頃歯科診療所で勤務する歯科衛生士にとって非常に身近で、患者さんから質問されることも多い疾患に関する演題のため、他支部の会員の参加もあり、非常に満足度の高い勉強会となったと思う。

毎年取り上げたいテーマは多く上がるが、そのテーマに沿った講師を探すことに苦労している。できる限り会員の望む演題を取り上げ、勉強会の回数を増やしていきたい。

前田 知子

★ 学校歯科保健指導に向けて

〈三河南部支部〉

平成27年度から安城市より小学校の歯科健康教育を委託される事となった。その準備として当支部の今年度の研修会を媒体の作成法や授業の進め方を中心とした内容で9月28日と2月1日の二日間行った。講師は豊田三好支部から松田由子会員を迎え経験豊かな指導法を学んだ。実際に参加者で媒体を作ったり人前で話す練習をしたりとの体験型の研修会となったので、実動に向けて会員のスキルアップに大変役に立った。

浅井 弘子



媒体作りの様子

★ 支部連絡網 準備奮闘中

〈尾張東部支部〉

尾張東部支部では、連絡網の整備に向けたアンケートを全ての会員に行った。支部内を7つの地域に分け、各担当者にFAXでの返答を依頼した。連絡方法、勤務先、勤務状況、研修会や求人案内と災害時の支援活動等の参加希望の有無、それらの連絡の希望、意見や要望を書く欄も設けた。丁寧な記載の有った一方で、期日後に返答の無い会員に個別に連絡を取ったが、連絡が取れなかったり、結婚前の連絡先であったりと、全員の回答を集める難しさが浮き彫りとなった。今年度中に連絡網を整備し、今後の研修会等の情報の周知や魅力的な研修、参加し易い日程決め等に役立て、支部の活動の活性化に活かしたい。

鈴木 佳美

★ 研修会報告 ～歯を見て人を診ず～

〈尾張北部支部〉

平成26年11月30日に江南市民文化会館にて医療法人八輝会ごとう歯科クリニック医院長 後藤邦之先生を講師に「チェアサイドで防ぐ紛争の極意～私の医院での対応～」というテーマで研修会が行われた。実際に現場で起こった様々なトラブルをどのように対処していくかを症例、資料をもとに講演した。

昨年の研修会の第2弾となる今回は、前回は上回る参加人数で後藤先生の話も大変面白い内容であったが、楽しく笑いあいの講演で大好評だった。

本支部は更なるスキル向上を目指し地域に貢献していくため二一ズの高い研修会を役員内で検討している。

櫻井 佐穂



研修会の様子

★ 福祉健康フェスティバル

〈豊田三好支部〉

11月9日、豊田市福祉センターにて、福祉健康フェスティバル（福祉団体・市・歯科医師会等各種団体による展示や体験、8020達成者表彰式等）が開催された。

歯科衛生士会では、ブラッシング指導・介助が必要な方の口腔ケアグッズの紹介・笑顔づくりのトレーニングのコーナーを設けた。笑顔づくりでは、口の周りの運動をし、さらに表情筋を鍛えるため風船を膨らませてもらい、子供から高齢者の方まで楽しみながら体験でき、好評であった。また、風船には「8020運動」の文字を入れ、来場者にアピールした。

このイベントを通して、誰もが一生美味しく食事ができるよう意識するきっかけになることを期待したい。

太田 真美子

★ 2月11日 名古屋市歯科衛生会研修会

〈名古屋歯科衛生士会（名古屋支部）〉

2月11日（水・祝日）ウィルあいちにて名古屋市歯科衛生士会研修会を開催した。

今年度は名古屋市歯科衛生会副会長 小林由紀子が『はじめての口腔ケア』～診療室での活用法～というテーマで講演した。口腔ケアに関する基礎的な知識を増やし、心構えが学べた。同じ歯科衛生士会の会員が講師であることと、実習を交えての研修会であったので、和気あいあいとした雰囲気でも多数の質問も出て、有意義な時間を過ごした。

懇親会では、参加者の現状報告や悩みなどを相談する場もあり、普段接するチャンスがない歯科衛生士同志のコミュニケーションの機会になった。

柴田 雅子



顔面マッサージ 実習風景

★ 地域包括ケアシステムと歯科衛生士

〈知多支部〉

第3回支部長会で長縄会長から地域包括ケアシステムと地区歯科医師会の関わりを把握するよう提案があり、知多支部に該当する地区歯科医師会会長と情報共有する場を持った。知多郡歯科医師会会長から大府市在宅医療連携拠点推進事業の一環で多職種連携研修会の案内を受け会員5人が参加した。知多郡歯科医師会内藤会長から「在宅における摂食嚥下の評価と対応」の講演があり、医療及び介護関係者約70人の参加があった。この研修会の前に歯科衛生士の立場で地域包括ケアと歯科衛生士をテーマに支部長として認定歯科衛生士や生活としての食を支援する視点で話をした。長縄会長の宿題が発端となり、多職種に歯科衛生士をPRできるよい機会となった。

早川 智子

★ 有志の研修会「でんでん会」

〈尾張西部支部〉

現在、我が支部では「でんでん会」という勉強会を2～3ヶ月に1回程度行っている。始まりは「糖尿病に関して知ろう」という研修会がきっかけであった。「もっと知りたい」という意欲のある会員が集まり、疑問に思ふことを議題に上げ意見を述べ合っている。メンバーは、ベテランから子育て真っ最中の者まで幅広く、年齢差を超えて率直に意見を言い合える場となっている。歯科衛生士という職業は孤独になりがちであるが、こういった場を設けることで、他者の考えを聞くこと、自分の考えを発言することで知識を深めることができる。また、仲間がいるという認識を持つこともでき、歯科衛生士会に入会しているメリットだと考える。この会の利点は、気負わず、復習のように話し合えるということであり、今後も敷居を低くして誰でも参加できる会にしていきたい。

横田 亜津子

★ 2歳児歯科健診

〈岡崎支部〉

岡崎支部では、平成20年度から岡崎歯科医師会が岡崎市から委託を受けている2歳児歯科健診に協力している。この健診は、岡崎歯科総合センターで月に4～5回開催され、1回の受診者は約60人ほどである。歯科衛生士は毎回8人が、健診介助、歯みがき指導、フッ化物塗布に従事している。フッ化物塗布は希望者に、歯みがき指導は保健指導と合わせて全員に実施しており歯科衛生士の活躍の場となっている。受診率は毎年80%以上あり、市民に定着している歯科健診である。

芝鼻 美紀



個別ブラッシング指導・フッ化物塗布の様子

認定歯科衛生士に聴く (第2回)

日本歯科衛生士会
摂食・嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士
伊藤 裕美子

12年ほど前になるだろうか。急性期病院の口腔ケアに携わったのがきっかけで、中途障がい者や高齢者・有病者に対し歯科衛生士として支援する必要性を感じた。知識も技術も乏しかった私に愛知県歯科衛生士会のサポートを受けたお蔭で今のわたしがいると思う。彼女たちの活躍に憧れ、今でも進行中だ。

現在急性期・回復期・維持期の病院施設をもつ歯科のない医療法人に勤務している。歯科衛生士は私一人のみ、3施設を掛け持ちしている。

主な業務内容は、看護師や介護士への口腔ケアマネジメント・外部からの訪問歯科診療の調整等・セラピストへの口腔ケア指導・老人保健施設入所者の口腔管理・デイケアでの口腔機能向上訓練・摂食嚥下障害者への食事介助を行っている。入所者の口腔管理に際しては、看護師・介護士から摂食嚥下の相談を受け、義歯や歯牙の状態や嚥下状態によって食形態の変更を提案している。



NSTカンファレンスの様子

入職直後、病院のNSTのコアメンバーに入り、回診やカンファレンスに参加し、歯科的なことはもちろんだが、摂食嚥下のことも提案している。

今まで歯科衛生士という職種が法人の中で存在しなかったのが、初めは「この人誰？」という感じはあっただろうが、日々を通して歯科衛生士の存在を確立してきた。一人職種の私をNSTの仲間が認め、支えてくれたことに感謝している。

認定取得してからは、摂食嚥下のアドバイスも求められた。良好な連携を実現するためには、私たちの職域を他職種に認識してもらう必要がある。一人の医療職として知識・技術を高め自信をもって対応していくことだと思う。いつまでも他職種から信頼してもらえる存在でありたい。

今私たちに求められているのは、口腔内だけでなく、摂食嚥下や栄養管理にも携わることができる歯科衛生士。病院・診療所だけでなく、施設・在宅で一人でも多くの歯科衛生士が活躍できるよう今後も自己研鑽し微力ながら力になれればと思っている。

まだまだみなさんが活躍する場はたくさんあります。認定を取りましょう！！



NSTでのPEG・口腔ケア回診の様子

支部イチ!! (第2回)

【プロフィール】

卒後40数年、歯科衛生士会の会員を継続している。

結婚後、転勤で各県を転々としたが、歯科衛生士免許があるおかげで、どこの県にいても仕事をする事ができた。出産を機に、いったん仕事から離れたが、名古屋に転居後、障害者センターの紹介を受けた。その頃子育てもひと段落していたので、仕事を再開し、江南保健センターの2歳半健診も携わるようになった。しかし義母の介護が必要になり、仕事を辞めることも考えたが、家族の協力や職場環境にも恵まれ、続けることができた。生涯の仕事として選んだ歯科衛生士の仕事を職場と自身が許す限り続けたいと考えている。

【現在の勤務】

開業医に勤務しており、歯科診療補助や口腔衛生指導さらに同医院より、在宅訪問も行っている。

【支部での活動】

尾張北部支部の初代支部長を務めた。また6年間、支部役員として支部活動に携わった。現在は、春と秋に実施される歯科医師会主催の「歯と口の健康センター」に参加している。

【後輩に伝えたいこと】

子育てが一段落すれば、ぜひ続けていただきたい。時代に沿った医療の情報を知るためにも歯科衛生士会に入り、会報等で情報をキャッチして欲しい。新しいことをするには、躊躇するけれど扉を開けてみる勇気が必要で、扉をあけると視野が広がり、人の輪が広がります。継続です。



尾張北部支部
稲葉幸代

母校を訪ねて

鈴木 千里

第2回 学校法人薫育学園
専門学校名古屋デンタル衛生士学院



学び舎

今回は、私の母校である名古屋デンタル衛生士学院を訪ね栗寄政子教務主任に話を聞いた。

【Q:学校の特徴は】

A:開校当初から、教育理念である「建学の精神」を柱に学校運営をしている。

建学の精神とは、

①進取の道（歯学の進歩に遅れることなく、常に新しい知識、技術の習得に励み理想の現実に向かい挫折することなく努力する、強い心を養う。）②生命の倫（命の尊さ健康の大切さを心に刻み自分達の技術や知識が人々の幸せに貢献できることを喜びとするやさしい心を養う。）③真実の道（礼節を重んじ誠意を持って事に当たり人の意見に率直に耳を傾ける素直で謙虚な心を養う。）この精神を目標に充実した施設、設備のもと高齢者、障がい者施設での臨地実習、様々な診療形態が学べ応用性の高い臨床実習や小人数単位での研究・発表会を開催。また芸術鑑賞、現代女性としての教養や親睦会など独自の変化に富んだカリキュラムを取り入れている。

【Q:コアカリキュラム、3年制教育での新たな取り組みについて】

A:歯科衛生学教育コア・カリキュラム（教育内容ガイドライン）に基づき医療技術の高度化に対応し、ヒューマンスキルを重視するなどエキスパートとしての即戦力を高めるカリキュラムを充実させている。

3年制教育の新たな取り組みについては歯科衛生士

の3大業務の内容をより充実させ、摂食嚥下、医療倫理、コミュニケーション論、国語表現法、芸術、女性学などのカリキュラムを増やした。

1年生では一般科目と歯科の基礎科目を中心に学び、実習設備を使用し基礎実習を行う。2年生では臨地実習、臨床実習にむけて、専門科目や予備実習を行い1月からは臨床実習が始まる。その他に感染予防やコミュニケーション能力を高める教科や医療倫理を学ぶ。3年生は臨床実習を応用展開して実力を磨き、社会で活躍できる力を養う。さらに国家試験に向けて集中講義などを実施している。

【Q:卒業生の就職先は？】

A:就職先の殆どが歯科診療所である。最近では病院からの求人も増加傾向にある。

母校は教育理念のもと変わらずに高度な専門技術を持ち人間性を重視した歯科衛生士の育成を目指している。

第1期生から実施している卒業論文が学校に製本、保管されていた。自分の論文を見て気恥ずかしく思ったが伝統を強く感じた。



筆者 栗寄教務主任 横田同窓会会長



教室風景

活動報告

がんサバイバーウォーク



11月15日がんになっても安心な社会の構築を啓発する目的で第2回がんサバイバーウォークin愛知・名古屋に参加した。

午前中の暖かな日差しとは裏腹にウォーク直前は日が陰り底冷えを感じる出発になったが、300名程の参加者があり、歯科衛生士会は「がん治療 口から食

伊藤 裕美子

べて私らしく乗りきろう」ののぼり旗を片手に、大須観音～大須商店街～久屋大通り～三越前～若宮公園の賑わう街中3キロをウォークした。

がんを支援する参加チームと有意義な時間を過ごした。

来年も一人でも多くの会員と、がんと闘っている患者さんのために歩きたいと思う。



愛知県歯科医学大会

開催日 平成27年2月21日・22日 於 名古屋市中企業振興会館

< (公社)愛知県歯科衛生士会企画講演報告 >

『日常生活を豊かにする各会著名人の「声」の技法』

朝日大学経営学部早稲田大学国際情報通信研究センター 藤野良孝



今年度の本会の企画講演は"オノマトペ"を表現法として人間関係をいかに円滑に築くか、をテーマとして研究している藤野良孝氏を招いた。オノマトペとは、擬声語を表すフランス語。擬音語（ワンワン、サラサラなど）と擬態語（ニヤニヤ、クルクルなど）を合わせたものを擬声語という。オノマトペの活用法と人間関係の構築法が講演の趣旨。

藤野氏は実に多くの著名人、タレントから多くの表現法や人間関係を円滑にする法を学んだと言う。

「人間関係」は、さんまさんから学んだ、と藤野氏。いつでもさんまさんの顔から笑顔が絶えないのを知る。笑顔を癖にすると脳も楽しさを感じるようになる。そして話す時には自分の手を動かしながら話すと、自分もスムーズに話せ、相手に話のイメージを伝えやすくなる。

「情報伝達力」はビートたけしさんとの対談で学んだ、と藤野氏。大切なことは低い声で話すと、すごみが出る。楽しいことは高い声で、しっかりと伝えたい時は低い声の方が相手に響く。

所ジョージさんは「聴き上手」のお手本だった、と藤野氏は続ける。所さんは相手の話が終わる時に「んー、なるほど」「へー、なるほど」と相槌を打つ。すると話し手はこの人は最後まで話を聞いてくれている、とうれしくなる。

また「オノマトペ」は会話に使うと話にインパクトを与えると藤野氏は言う。会話が印象深くなる。覚えてほしい時に使用するのは効果的な技法である。こうした技法は人間関係を豊かなものにする。なにより相手に話を伝えたい時、聴いてほしい時は100%本気で話すことが大切な技法。本気の話は必ず相手に伝わると藤野氏は結んだ。

(公社)愛知県歯科衛生士会ワークショップ

第9回愛知県歯科衛生士会学術大会

「会員研究ポスター発表」報告

身近な場で気軽に研究発表をしてほしい、と企画したこのワークショップ。会員の研究発表も年々レベルアップしているように感じられる。5題のポスター発表の題材は臨床現場から地域住民を対象にしたものまで幅広い。身近な業務から研究のテーマを探り、継続的に見つめていく視点が歯科衛生士の中に根付いてきている。



発表者一同

- 「20年間、歯みがき習慣のなかった知的障がい者が、歯科保健習慣を獲得した一例」 佐藤 恵子
- 「矯正治療患者とその保護者に関するブラッシング習慣と意識の違い」 平野 真美子
- 「口腔機能訓練の違いによる青年期成人唾液分泌量の変化」 斎藤 あゆみ
- 「ファーストブラッシング Vo. 1 ～0.6歳からのアプローチ～」 石井 美智子
- 「中村日赤ふれ愛まつり」に参加した地域住民の口腔に関するアンケート調査 古橋 采奈

どうぶつぶくぶくフェア開催報告 鈴木 那知子

11月3日文化の日に東山動物園（名古屋市）において、口腔保健啓発を目的に愛知県歯科衛生士会主催、愛知県歯科技工士会共催で開催された。今年は前日までの長雨により開催が危ぶまれましたが、当日は風があったものの晴天に恵まれ、動物クイズ、ガム噛みチェック、塗り絵、ジュースのPH調べなど、子ども達が楽しく学べる催しで600名ほどの家族連れの参加者があり大変盛況であった。



“信頼される歯科衛生士”を目指して頑張る皆さんに読んでほしい一冊



ペリオバカ養成講座

～学びの門戸を開くための100の質問～

山本浩正 著

“知らない”ということに気づくことこそ“学びのスタート”である
自分が“何を知らないのか”を「○」「×」でチェックしてみてください！

歯周治療や患者指導にまつわる100の質問（ペリオバカ度診断）を収載。豊富なエビデンスや臨床例を、Dr. Hiroの軽妙な解説とイラストにより、楽しくわかりやすくまとめました。

Dr.Hiroと一緒に、学びのスイッチを“ON”しよう！

■AB判/144頁/オールカラー ■定価（本体4,800円+税）

発売たちまち増刷！



デンタルハイジーン 別冊

歯周病を治すSRP

できる歯科衛生士のスキルと知識

沼部幸博・貴島佐和子・土屋和子 編著

最新刊！

“SRP”を効果的に実践するために必要な知識とテクニックが見てわかる！

SRPの根拠となる歯周病の病因論、歯の解剖学的特徴やインスツルメントについても、くわしく解説しています。

■AB判/128頁/オールカラー ■定価（本体3,200円+税）



歯科衛生士にも知ってほしい かみあわせの本

ペリオにもかかわるの？

中沢勝宏 著

すぐに役立つ！かみあわせ（咬合）について、
歯科衛生士の基礎知識を高めるための入門書。

■B5判/98頁/オールカラー ■定価（本体4,200円+税）



新 歯科医療における 感染予防対策と 滅菌・消毒・洗浄

ICHG研究会 編

臨床で必須の「感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄」
の知識を総覧できる一冊！

■A4判/144頁/2色刷 ■定価（本体3,500円+税）



フッ化物をめぐる 誤解を解くための12章

真木吉信 編

患者さんが抱くフッ化物に対する心配や疑問に
やさしく回答するための手引き書。

■A5判/78頁/2色刷 ■定価（本体2,400円+税）



歯科口腔保健の推進に向けて ライフステージに応じた 歯科保健指導ハンドブック

公益社団法人
日本歯科衛生士会 監修

歯科保健指導を実践するために必要となるエッ
センスをコンパクトにまとめたハンドブック。

■B5判/184頁/2色刷 ■定価（本体3,600円+税）

好評発売中 ● おすすめ書籍



Welcome to Dental Office まずは行ってみよう！ 一般開業医のための訪問歯科診療入門

高橋英登 編著/岩部弘昌・山口弘志・遠山佳之 著

今日から役立つ訪問歯科診療の入門書！
訪問歯科診療の「はじめの一步」を踏みだすための
ノウハウ満載！

■B5判/100頁/2色刷 ■定価（本体3,500円+税）



はいしゃさんの仕事 段取り術

小原啓子・河野佳苗 編著

はいしゃさんの仕事を徹底解剖!!
“カイゼン”を積み重ねて段取りよく仕事を進める
ための視えるヒントが満載。

■A4判/104頁/オールカラー ■定価（本体3,800円+税）

健康寿命の延伸をめざした

口腔機能への気づきと支援

ライフステージごとの機能を守り育てる

向井美恵 ほか編著
(公財)ライオン歯科衛生研究所 編

健康に生きるために不可欠な口腔機能への
「気づきと支援」を、妊娠期・乳幼児期から
高齢期までEBMに基づいて実践するために
必要となる知識をまとめました。

■B5判/216頁/2色刷
■定価（本体3,800円+税）



押さえておくべきポイントが一目でわかる構成！



GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer



グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする医薬品およびヘルスケア企業です。中枢神経領域、呼吸器領域、ウイルス感染症、がん治療領域などの医療用医薬品やワクチン、「コンタック」「アクアフレッシュ」「ポリデント」「シュミテクト」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル
<http://glaxosmithkline.co.jp>

新しいカタチの医療保険

メディカルKit R



医療総合保険(基本保障・無解約返戻金型)健康還付特則 付加[無配当]

■主契約 5,000円タイプ (7,000円、10,000円タイプもございます。)

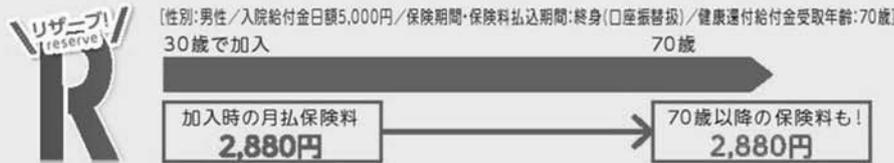
入院の保障 病気やケガで所定の入院をされたとき 疾病入院給付金 災害入院給付金	手術・放射線治療の保障 公的医療保険制度の給付対象の手術・放射線治療を受けたとき 手術給付金 放射線治療給付金	健康還付特則 被保険者が健康還付給付金支払日に生存しているとき 健康還付給付金
日額 5,000円 × 入院日数分 (1入院60日/通算730日)	●入院中の手術・放射線治療 5万円 ●外来の手術 2.5万円	所定の年齢までにお払いいただいた保険料(*)からそれまでにお受け取りいただいた入院給付金等を差し引いた差額をお受け取りいただけます。*(1)

(*)被保険者が所定の年齢に達する、年単位の契約応当日の前日までの既払込保険料相当額。主契約の保険料が対象となり、特約の保険料は対象となりません。所定の年齢は契約年齢が0歳~40歳の場合は60歳または70歳、41歳~50歳の場合は70歳、51歳~55歳の場合は75歳、56歳~60歳の場合は80歳となります。
 *(1)お受け取りいただいた入院給付金等の合計額がお払いいただいた保険料を超えた場合、健康還付給付金のお受け取りはありません。

・基本保障部分については、解約返戻金はありません。・健康還付特則部分については、健康還付給付金支払日前に限り解約返戻金があります。解約返戻金額は、保険料の払込年月数・経過年月数により異なります。また、主契約の入院給付金等の支払額により減少し、入院給付金等の合計額が健康還付給付金額から差し引かれます。入院給付金等の支払額によっては解約返戻金が全くない場合もあります。

30歳でメディカルKit Rに加入した場合(注)

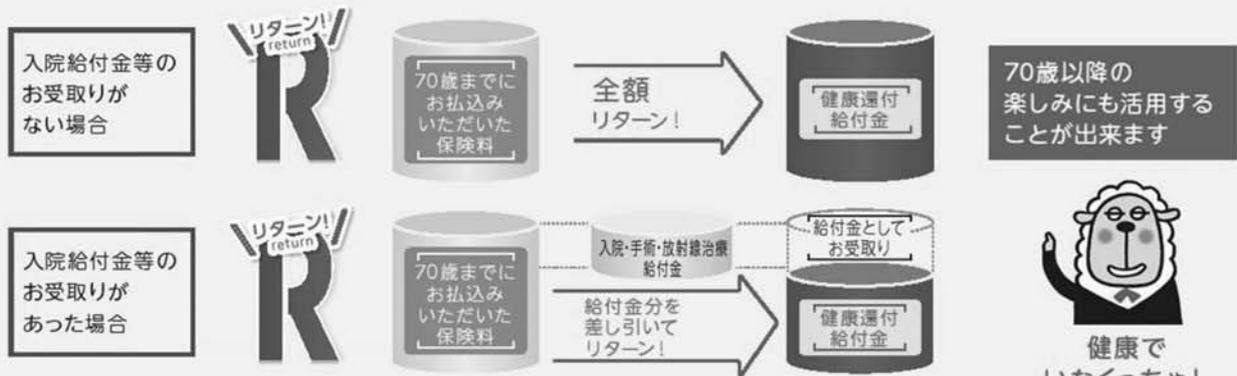
メディカルKit Rは、一生涯の保障を加入時のお手頃な保険料で予約(リザーブ)!



今後どうなるかわからない、70歳以降の医療費に向けて備えることができます。

「あんしんセエエ」

メディカルKit Rは、70歳までの使わなかった保険料が戻ってきます(リターン)!



(注)ご契約年齢によって健康還付給付金のお受取年齢は異なります。

<保険料表> 入院給付金日額5,000円、入院中の手術・放射線治療給付金額5万円、入院中以外の(外来の)手術給付金額2.5万円、
 保険期間・保険料払込期間:終身、月払、口座振替の場合 2015年1月現在

メディカルKitR(健康還付給付金受取年齢:70歳)

	70歳までの総払込保険料			70歳までの総払込保険料	
	保険料	女性		保険料	女性
15歳	2,265円	1,494,900円	35歳	3,585円	1,505,700円
20歳	2,600円	1,560,000円	40歳	4,090円	1,472,400円
25歳	2,970円	1,603,800円	45歳	4,745円	1,423,500円
30歳	3,255円	1,562,400円	50歳	5,455円	1,309,200円

このチラシはメディカルKit R(医療総合保険(基本保障 無解約返戻金型)健康還付特則付加[無配当])の概要を記載したものです。詳細につきましては「パンフレット」「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

取扱代理店:(有)イダ生命保険事務所
 〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-26-7
 TEL052(363)2156 FAX052(363)3792

引受保険会社:東京海上日動あんしん生命保険(株)
 「あんしんセエエ」は東京海上日動あんしん生命のキャラクターです。
 本社募資料'1501-KL08-H0279

「祝！愛知県表彰条例による 知事表彰受賞」

平成26年11月19日に本会会員である池山豊子が第66回愛知県表彰条例による知事表彰を受賞した。これは、愛知県表彰条例（平成15年条例第6号）に基づき、県民の保健・医療・福祉の増進に貢献され県勢の発展に努力した方（団体）に対する表彰（知事表彰）である。

長年の功績に会員一同感謝します。受賞おめでとうございます。



■ 日本歯科衛生士会 終身会員 おめでとう■

今年度、本会会員の中野圭子さんが終身会員となりました。長年にわたり歯科衛生士会とともに歩み、終始変わることなく会を支えていただいていることに敬意を表します。



● 第4回定例総会 のお知らせ ●

標記総会を下記のとおり開催します。

日時：平成27年5月24日（日）10時～

会場：ウィルあいち

ロケスト講演会

（同日13時～14時30分）

講師：渋谷恭之先生

（名古屋市立大学大学院医学研究科 口腔科学分野教授）

テーマ：『私の考える歯科衛生士像』（仮）

■ 事業報告 ■

- ▷ 名古屋路上生活者精神保健調査 11/2
岡平 祐子、戸田 文世、藤田 紀江、三宅 やよい、
山田 みどり、後藤 百合、三角 洋美、久田 せつ子
- ▷ 平成26年度歯の健康力推進歯科医師等養成講習会
11/16、12/14、21
杉山 裕子

● 会 動 向 ●

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|---|
| 10月21日 | 第2回名古屋市在宅医療・介護連携推進会議 | 1月25日 | 愛知県小児保険協会理事会及び
総会兼学術研修会 |
| 10月27日 | 地域医療再生に関する多種職連携協議会 | 1月29日 | 「防災に関する歯・技・衛・材連絡協議会」、
26年度健康づくり協議会歯科口腔保健対策部会 |
| 10月30日 | 愛知県介護予防推進会議 | 2月3日 | 第2回愛知県介護予防推進会議 |
| 10月31日 | 在宅医療連携拠点推進事業・
地域包括ケアモデル事業合同活動報告会 | 2月6日 | 名古屋市在宅医療・介護連携推進会議 |
| 11月6日 | 愛知県歯科医学大会第2回事前打ち合せ会 | 3月5日 | 名古屋市歯科衛生士専門学校卒業式
三河歯科衛生専門学校卒業式
専門学校デンタル歯科衛生士学院卒業式
名古屋ユマニテック歯科製菓専門学校卒業式 |
| 11月8日 | 愛知学院短期大学戴帽式 | 3月8日 | 県民公開シンポジウム |
| 11月18日 | 多種職連携協働研修会講師 | 3月11日 | ナゴノ福祉歯科医療専門学校卒業式 |
| 11月19日 | 愛知県表彰、受動喫煙防止対策研修会 | 3月12日 | 豊橋歯科衛生士専門学校卒業式 |
| 11月22日 | 東海北陸ブロック協議会（福井） | 3月19日 | 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科卒業式 |
| 11月23日 | 東海北陸ブロック協議会（福井） | | |
| 12月4日 | 名古屋デンタル学院戴帽式 | | |
| 12月7日 | 第7回理事会、第3回支部長会 | | |
| 12月8日 | 地域医療再生に関する多種職連携協議会 | | |
| 1月8日 | 災害対策研修会 | | |

■ ご結婚おめでとう ■

いつまでもお幸せに

小林 紀子さん 平成26年11月15日

富田 由佳奈さん 平成27年2月21日

本会では会員への厚生事業の一環として結婚祝電をお届けしています。会員でご結婚される情報がありましたら事務局までお知らせください。

事務局

